横浜市立 岩崎中学校　令和 4 － 6 年度版　中期学校経営方針　（ 令和 5 年度修正 ）

学校教育目標	『岩崎』のまちとともに未来を拓き 社会に尽くせる人になるために　やさしい心（徳） 確かな学力（知・体） 自主自律の精神（公・開）　を身に付けます。

学校概要	創立 76 周年	学校長 平林 善光	副校長 繁里 賢	2 学期制	一般学級：19　個別支援学級：2
	児童生徒数： 720 人	主な関係校： 桜台小学校・岩崎小学校・保土ケ谷小学校・瀬戸ケ谷小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
○高い「自尊感情」と「自己有用感」をもって生活し、自ら課題解決を進めることのできる力 ○「互いの違いを認め合う」ことのできる力

岩崎中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
岩崎中学校 桜台小学校 岩崎小学校 保土ケ谷小学校 瀬戸ケ谷小学校	自ら生活を切り拓いていくために課題を見つけ、解決しようとする主体的な児童・生徒 ・ブロック主幹会議を通して、小中間の年間行事の把握と各校の情報交換を密に行い、ブロック内の小中一貫教育をより一層、充実させる。 ・ブロック内の定期的交流を通して、児童生徒の成長の様子が共有できる場を構築する。 ・児童生徒交流日を中一ギャップ解消のよい機会と捉えた部活動体験を実施する。

中期取組目標	○学校教育目標の具現化へ向けて、生徒・保護者・地域と共に成長する学校づくりに努めます。 ・多くの機会を利用し、学校教育目標の生徒・保護者・地域へのさらなる周知と徹底に努めます。 ・生徒が意欲的に学習へ取り組めるよう、一人ひとりの教員が授業展開を工夫し、確かな学力を身に付ける授業の構築に努めます。 ・基本的生活習慣の体得の支援と指導を心掛け、自ら責任をもった言動ができる生徒の育成に努めます。 ・家庭環境を把握し、保護者・生徒への丁寧な対応を行い、関係諸機関とも連携しながら生徒が充実した学校生活を送れるように努めます。

重点取組分野		具体的取組
知	授業力向上	①「横浜市立学校カリキュラム・マネジメント」を踏まえたうえで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。②授業力向上にむけた研修を具体的に計画・実施し、授業公開を通して教員自らが振り返り、改善を行う。新教育課程における指導と評価の一体化を目指し、研修を充実させる。
担当	学習指導部	
徳	人権教育	①全教育活動において人権尊重の精神を基盤とした教育を行うことを通して、子どもの自尊感情を育て、自分も他の人も大切にする心を育む。②子どもが道徳的見方・考え方を広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身に付けることができるよう「道徳の時間」の充実を目指す。
担当	人権教育推進委員会	
体	健康教育	①「運動の楽しさを体験する」ことを目標とし、主体的な取組を身に付けさせる。②地域や保護者と連携を図り、積極的に自らの健康を振り返り、防災や安全に対する正しい知識と判断力を身に付けさせる。③中学校給食に関連して、食育の推進を図っていく。
担当	生徒・保健指導部	
公開	自分づくり（キャリア）教育	①多様な人と関わる体験的な活動や「本物」に触れる体験を通して、学びを生活や将来に結び付け、子どもが社会や集団の中で役割を意識したり、豊かな感性を磨いたりすることができるようにする。②今まで学んだことを基礎として、自分の適性にあった卒業後の進路選択ができるようにする。
担当	学習指導部総合係	
いじめへの対応		①いじめ防止対策委員会が中心になって、生徒一人ひとりの日々の変化を見逃さず、全職員で共通理解を図り、いじめ防止に努める。②職員研修を通して、一人ひとりの生徒が「自尊感情」を高め、「自己有用感」をもって誰もが安心して豊かに過ごせる環境づくりについて考えを深める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①会議を精選・充実させ、職員が自分たちで考え、相談しながら実践し、振り返り、改善し、より良いものにしていく取組の機会をつくり、職員のスキルアップを目指す。②5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが教科指導や生徒指導等の指導・助言を計画的に行う。
担当	教育課程委員会	
ICT教育		①ICT機器を日常的に様々な場面で使い、これまでの実践とICT機器を最適に組み合わせることで、個別最適な学びと、協働的な学びを実現する。②職員が研修を通じ、ICTの活用に必要な資質・能力を身に付けられる機会をつくる。また、ICT支援員を活用し、校内のICT環境を整備する。
担当	情報係	
特別支援教育		①特別支援教育コーディネーターを中心に学習支援・登校支援を充実させる。特別支援教室の有効活用を進め、関係機関等との連携や情報交換を密に行う。②合理的配慮の提供と指導内容や指導方法を工夫する。③個別支援学級と一般学級の生徒たちの交流を計画的に位置づけていく。
担当	特別支援係	
地域学校協働活動		①学校運営協議会や地域学校協働本部と連携・協働し、学校運営への参画や連携強化、保護者や地域と学校が一体となった学校運営の改善と生徒の健全育成に取り組む。②年2回の「学園通りコンサート」などを通して、学校（幼保・小・中・高）・家庭・地域との交流を深める。
担当	わがまちの学校づくり委員会	
ESDの推進		①地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付け、自律心、判断力、責任感などの人間性や他者や社会、自然環境との「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育む。②持続可能な開発目標（SDGs）を実現するための行動・実践を促進する。
担当	学習指導部総合係	